

# 令和6年度 名古屋ビューティ―専門学校 自己評価報告書

## 1. 学校の教育理念 本気で学び、本気で楽しむ NFIT

### 【アドミッションポリシー】

美の技術は入学後に学びます。まず求められるのは、旺盛な好奇心と新しいことに挑戦する創造性、物事を探求する倫理性

### 【カリキュラムポリシー】

社会に出て貢献するために必要な学術的にも基盤となるカリキュラムを提供し、入学後の能力を伸ばす。

### 【ディプロマポリシー】

身につけさせるべき能力は論理的な裏付けから生み出されるテクニックと感性

## 2. 学校の教育目標

学生に対し必要なる美の業界に関する知識・技術を授け、関連産業界の現状を重視し、高度な専門知識を体得させ、併せて豊かな一般的教養を与え、もって将来有為の人物を育成することを目指す。

業界で活動するためのパスポート（国家資格）を取得し、自らが思い描く美の世界で活躍するための高いスキルを身につける学びを提供する。

## 3. 自己評価 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 学校の理念・目的・教育人材像は定められているか	4
2. 学校教育における職業訓練の特色は何か	4
3. 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されてるか	3
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

1. 学校の理念・目的・教育人材像については、学生に配布する「学生便覧」に記載の上、入学時に説明し周知している。
2. 理美容の現場で必要となるスキルの幅を広げ、多岐にわたる資格取得を目指すことができるカリキュラム。  
業界で活躍中の方々による直接指導により、より高い知識・技術の習得ができる環境を整えている。
3. 理美容の現状に合わせ、新たなカリキュラムを策定し、需要に合わせたスキル習得の環境づくりを実施。
4. 適宜、周知に努めているが、理解への落とし込みは十分であるとは言い難い面はある。
5. 業界のニーズに対し、必要に合わせ柔軟に対応している。

## (2) 学校運営 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 目標等に沿った運営方針が策定されているか	4
2. 運営方針に沿った事業計画が制定されているか	4
3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4. 人事、給与に関する規定等は整備されているのか	4
5. 教務・財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	4
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2

1. ~6. 学校法人としての運営については理事会で諮り、その方針に基づき事業計画を立て、学校運営を実施。種々の規則に則り適正に運営を行っている。
7. これまでは、HP 上で部分的な公開に留まっており、課題となっていたが、今後は適宜、公開できるよう対応する。
8. 情報システム化が若干、不十分な点があり、今後の課題となっている。

## (3) 教育活動 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4
5. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連帯により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6. 関連分野における実践的な職業教育（産学連帯によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	3
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	4
10. 資格取得等に関する指導體制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
11. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備	4

えた教員を確保しているか	
12. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13. 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2
14. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

1. ～6. 教育理念に基づき、教育課程の編成・実施方針を策定しており、業界のニーズも確認した上で、単年度での起動修正も図っている。  
 移り変わりのあるニーズに対して、教育方法などの工夫を実施。  
 インターンシップを通じ、業界理解を高めるとともに、業界関係者の方々にも適宜、ご意見を伺いながら可能な見直しを行っている。  
 実践的な職業教育は体系づけて実施しているが、新たな項目への対応をさらに高める必要がある。
7. ～10. 学校法人として授業評価体制は構築されており、成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準も明確になっている。  
 職業教育に対する外部関係者からの評価については、すべてにおいて実施できていない点があり、今後の課題となっている。  
 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的は概ね実施できている。
11. 12. 現時点での教員について要件を満たしており、さらに業界と連携して必要な教員の確保には力を注いでいる。
13. 14. 内部での研修は実施しているが、外部への研修参加は積極的には行えていない点がある。

(4) 学修成果 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 就職率の向上が図られているか	4
2. 資格取得率の向上が図られているか	3
3. 退学率の低減が図られているか	2
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

1. 2. ミスマッチのない就職に向け、業界関係者からの講演をするなど、職業観の喚起に努めており、さらには将来を見据えた、資格取得の必要性を説いている。
3. 目的意識が喚起されない学生や経済的な理由から退学を選択することがあり、今後の課題となっている。
4. 5. 以前は卒業生への現状確認などを実施し、卒業生サポートや在学生への指導に活かしてきた実績がある。システム変更に伴い、全体的な把握や教育への活用が縮小してしまった。

(5) 学生支援 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3

3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6. 学生の生活環境への支援は行われているか	3
7. 保護者と適切に連携しているか	2
8. 卒業生への支援体制はあるか	2
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

1. ~6. 学校法人として種々の支援体制は概ね整備されている。
7. 8. 保護者の方の生活スタイルも変化し、業務時間内での対応が完結できていない場合があり、課題となっている点がある。  
卒業生に対して、支援にばらつきが出ている点は課題となっている。
9. 10. 学校法人として概ねの対応はしてきた。

(6) 教育環境 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
3. 防災に対する体制は整備されているか	3

1. 現在、設備的に改めるべき点を洗い出し、適宜改修へと進めている最中であり、現時点では不備な点がある。
2. 3. 学外での項目、防災への項目については、概ね整備をし、実践している。

(7) 学生の受入れ募集 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 学生募集活動は、適切に行われているか	4
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3. 学納金は妥当なものとなっているか	4

1. ~3. すべての項目について、適正に実施している。学納金も教育内容に照らし合わせてみても妥当であると認識している。

(8) 財務 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3. 財務について会計監査が適切に行われているか	4
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	4

1. ~4. 学校法人として管理しており、適切あるいは概ね適切に管理している。

(9) 法令等の順守 適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4. 自己評価結果を公開しているか	2

1. ～3. 法令に則り、その順守と管理は適切に実施してきた。
4. これまでに、すべての項目についての公開が不十分な点があった。今後は適正に公開に努める

(10) 社会貢献・地域貢献 適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
3. 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

1. ～3. 近隣清掃や地域の要望に対して可能な限り実施した。

(11) 国際交流 適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
1. 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
2. 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
3. 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
4. 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3

1. ～4. 学校法人として短期大学も運営し、海外との関係性を構築してきたため、概ね環境は整えられていると認識している。